



2021年12月期 通期決算 および中期経営計画説明資料

— 2021年1月～12月 —

2022年2月14日

目次

1. CACグループ概要
2. 2021年度 決算概況
3. セグメント別概況
4. 通期業績見通し
5. CAC Vision2030および中期経営計画について
6. 参考データ



1

CACグループ概要





会社概要

- 設立 1966年（昭和41年）
- グループ事業内容 IT&ヘルスケアサービス提供
（システム構築、システム運用管理、BPOサービス、プロダクト&サービス）
- 本社 東京都中央区日本橋箱崎町24-1
- 代表者 代表取締役社長 西森良太
- 資本金 3,702百万円
- グループ会社数 19社（当社含む国内6社、海外13社）
- グループ従業員数 4,249名（2021年12月末時点）
- 上場証券取引所 東証第一部（証券コード：4725） ※2022年4月プライム市場に移行予定
- 決算月 12月

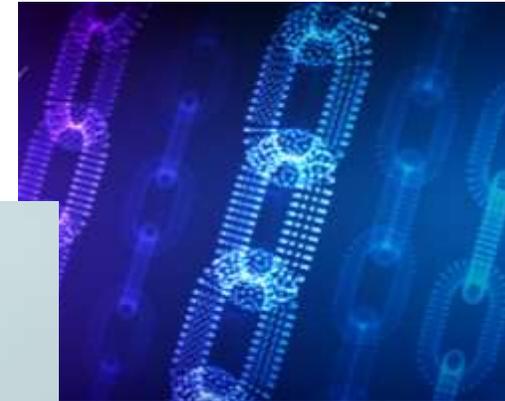




事業内容① 国内IT事業

- 国内子会社にてシステム構築サービス、システム運用管理サービス、人事BPOサービスなどを提供
- 創業の流れをくむシーエーシーとその他のグループ会社4社で構成、グループの中核事業で売上比率は7割
- AIやブロックチェーン等デジタルシフトに注力

売上高および営業利益推移 (億円)





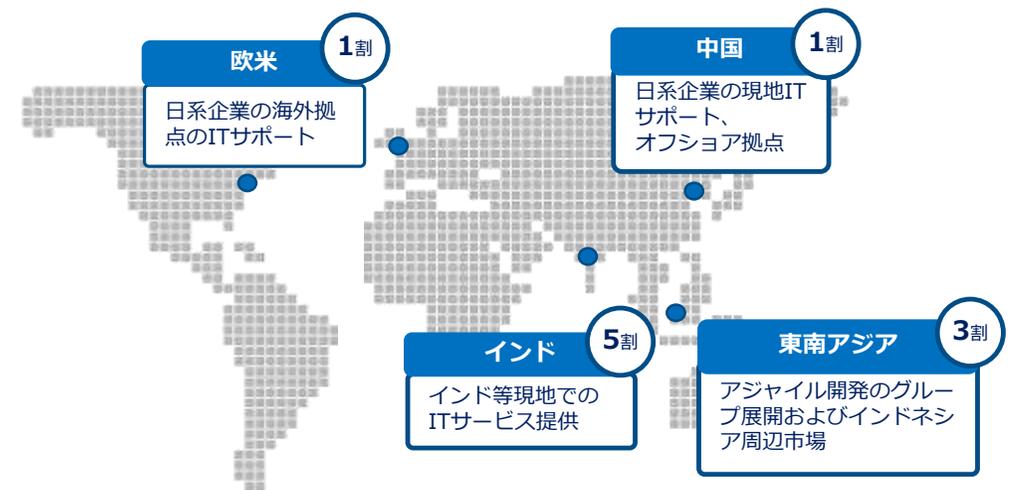
事業内容② 海外IT事業

- 海外子会社にてシステム構築サービス、システム運用管理サービス、保守サービスなどを提供
- M&Aで子会社となったインドおよびインドネシアの子会社と、日系の海外拠点顧客のサポートサービスを行う欧米中子会社で構成

売上高および営業利益推移 (億円)



子会社別 サービスと売上高分布

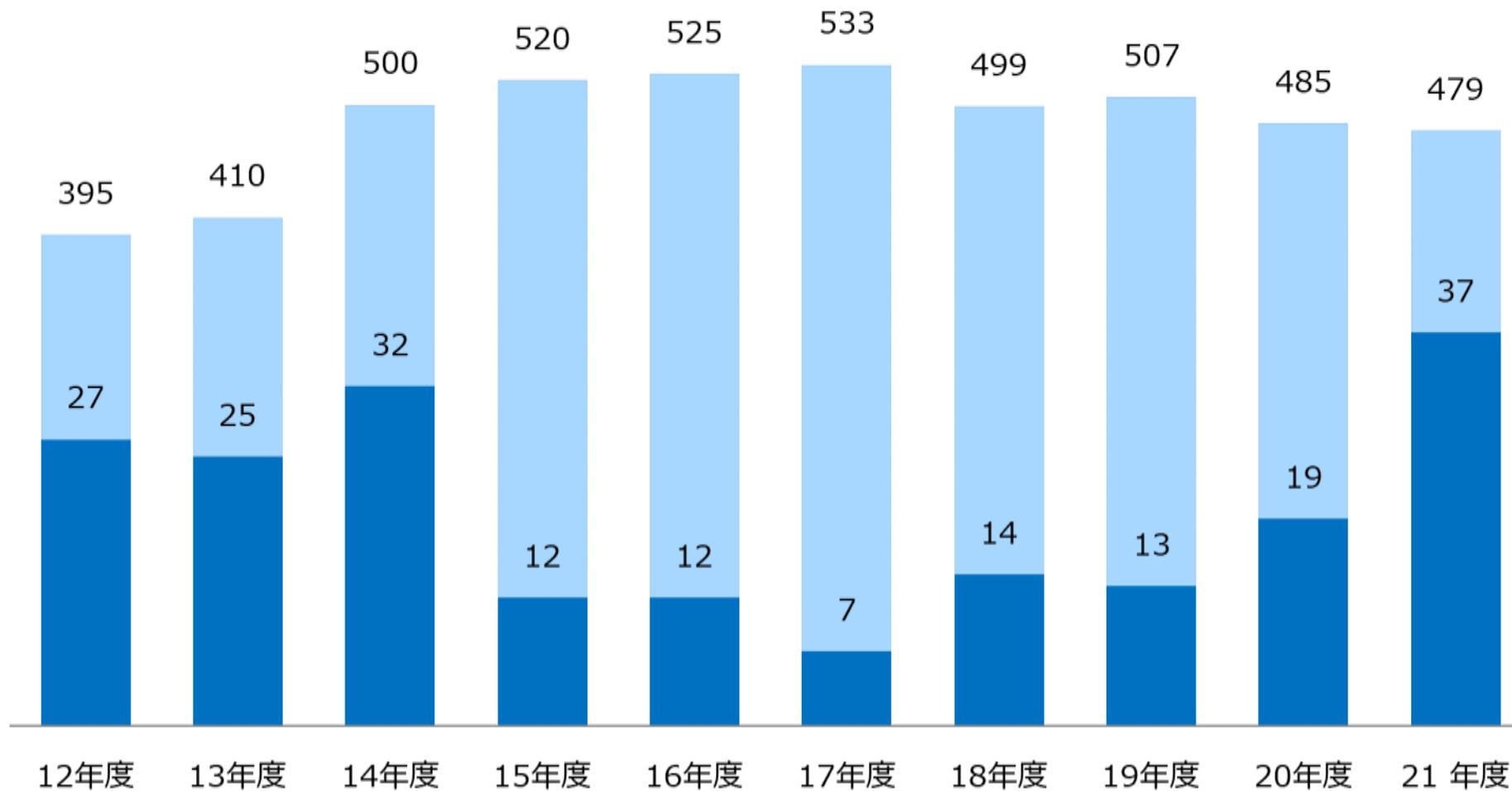


○内は外部売上高比率



業績推移

売上高 (億円)
営業利益 (億円)





株価推移 過去10年間



REFINITIV



2

2021年度 決算概況

連結業績概況

セグメント別売上高・利益

セグメント別受注高・受注残高



- 国内IT事業が堅調に推移
- 海外IT事業はインドネシア子会社がけん引
- 経営資源をIT事業に集中させるため、2021年6月にCRO事業を譲渡
- 一時的要因はあるものの増益を確保し、ROEも8.8%に





連結業績概況

単位：百万円

	2020年度	2021年度	前年度比	
			増減額	増減率
売上高	48,539	47,935	▲603	▲1.2%
売上総利益	10,748	11,899	+1,150	+10.7%
(対売上比)	22.1%	24.8%	2.7pt	
販管費	8,799	8,201	▲598	▲6.8%
営業利益	1,948	3,697	+1,748	+89.7%
(対売上比)	4.0%	7.7%	3.7pt	
経常利益	1,909	3,668	+1,759	+92.1%
(対売上比)	3.9%	7.7%	3.7pt	
特別利益	1,067	313	▲754	▲70.7%
特別損失	277	3	▲274	▲98.8%
特別損益(計)	790	309	▲480	▲60.8%
当期純利益 ※1	1,669	2,476	+807	+48.4%
(対売上比)	3.4%	5.2%	1.7pt	
受注高	48,195	53,693	+5,497	+11.4%
受注残高 ※2	10,617	11,848	+1,231	+11.6%

※1. 親会社株主に帰属する当期純利益

※2. CROセグメントを構成するCACクロアの株式譲渡に伴い、2020年度の数値についても、CROの受注残高を除外して記載

PL概況

売上高：

中核子会社（シーエーシー）やインドネシア子会社が堅調に推移したものの、連結除外（2社）の減収影響等により前年度比減

営業利益：

中核子会社の稼働率向上や、CRO事業の赤字解消等により増益

特別利益：

CRO事業子会社のCACクロア（現：EPクロア）の株式譲渡により第2四半期に関係会社株式売却益 2億70百万円計上

受注・受注残高概況

受注高：

国内IT、CROセグメントを中心に伸長

受注残高：

国内ITセグメントを中心に堅調に推移



セグメント別売上高・利益

単位：百万円

売上高

	2020年度		2021年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	31,852	76.4%	33,586	77.9%	+1,733	+5.4%
海外IT	9,865	23.6%	9,507	22.1%	▲358	▲3.6%
IT合計	41,718	100.0%	43,094	100.0%	+1,375	+3.3%
CRO	6,820	—	4,841	—	▲1,978	▲29.0%
CRO含む合計	48,539	—	47,935	—	▲603	▲1.2%

▶ 詳細はセグメント別概況をご参照ください

セグメント利益

	2020年度		2021年度		前年度比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
国内IT	1,856	5.8%	2,581	7.7%	+724	+39.0%
海外IT	445	4.5%	303	3.2%	▲142	▲32.0%
IT合計	2,302	5.5%	2,885	6.7%	+582	+25.3%
CRO	▲353	—	812	16.8%	+1,165	—
CRO含む合計	1,948	4.0%	3,697	7.7%	+1,748	+89.7%

セグメント別受注高・受注残高

単位：百万円

受注高

	2020年度		2021年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	32,090	77.5%	34,538	77.6%	+2,448	+7.6%
海外IT	9,312	22.5%	9,943	22.4%	+630	+6.8%
IT合計	41,402	100.0%	44,481	100.0%	+3,079	+7.4%
CRO	6,793	—	9,211	—	+2,417	+35.6%
CRO含む合計	48,195	—	53,693	—	+5,497	+11.4%

▶ 詳細はセグメント別概況をご参照ください

受注残高

	2020年度		2021年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	7,622	71.8%	8,418	71.0%	+795	+10.4%
海外IT	2,994	28.2%	3,430	29.0%	+435	+14.5%
IT合計	10,617	100.0%	11,848	100.0%	+1,231	+11.6%



3

セグメント別概況

国内IT事業

海外IT事業



単位：百万円

	2020年度	2021年度	前年度比	
受注高	32,090	34,538	+2,448	+7.6%
売上高	31,852	33,586	+1,733	+5.4%
セグメント利益	1,856	2,581	+724	+39.0%
利益率	5.8%	7.7%	-	+1.9pt
受注残高	7,622	8,418	+795	+10.4%

概況

- 連結除外（1社）の影響があったものの、大型案件の獲得や新規顧客の拡大等により受注高、売上高伸長
- 増収に加え、技術者の稼働率も向上したことなどから、利益も増加
- 受注残高も堅調に推移

単位：百万円

	2020年度	2021年度	前年度比	
受注高	9,312	9,943	+630	+6.8%
売上高	9,865	9,507	▲358	▲ 3.6%
セグメント利益	445	303	▲142	▲ 32.0%
利益率	4.5%	3.2%	-	▲1.3pt
受注残高	2,994	3,430	+435	+14.5%

概況

- 受注高はインドネシア子会社や中国子会社が伸長し増加
- 売上高もインドネシア子会社や中国子会社を中心に増収となったものの、インド子会社が大きく減収
- セグメント利益はインド子会社の減収が大きく影響して減少
- 受注残高は堅調に推移



4

通期業績見通し



2022年度 通期業績予想

- 国内ITは堅調、海外ITのインド子会社は利益回復を目指す
- CRO事業連結除外が大きく影響し、減収減益
- 中期経営計画に基づく投資も実施予定

単位：百万円

	2021年度通期 実績	2022年度通期 予想	前年度比
売上高	47,935	45,000	▲ 6.1%
営業利益	3,697	3,000	▲ 18.9%
(対売上比)	7.7%	6.7%	
経常利益	3,668	2,900	▲ 20.9%
(対売上比)	7.7%	6.4%	
当期純利益	2,476	2,000	▲ 19.2%
(対売上比)	5.2%	4.4%	
配当	60円	60円	0円

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

2022年度 セグメント別業績予想

売上高

単位：百万円

	2021年度実績		2022年度予想		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	33,586	77.9%	34,000	75.6%	+413	+1.2%
海外IT	9,507	22.1%	11,000	24.4%	+1,492	+15.7%
合計	43,094	100.0%	45,000	100.0%	+1,905	+4.4%

ご参考

CRO	4,841	—	0	—	▲4,841	▲ 100.0%
CRO含む合計	47,935	—	45,000	—	▲2,935	▲ 6.1%

セグメント利益

	2021年度		2022年度		前年度比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
国内IT	2,581	7.7%	2,400	7.1%	▲181	▲ 7.0%
海外IT	303	3.2%	600	5.5%	+296	+97.8%
合計	2,885	6.0%	3,000	6.7%	+114	+4.0%

ご参考

CRO	812	—	0	—	▲812	—
CRO含む合計	3,697	7.7%	3,000	6.7%	▲697	▲ 18.9%



5

CAC Vision2030

および中期経営計画



CAC Vision 2030



前中期経営戦略（2018年度～2021年度）の振り返り【数値目標】

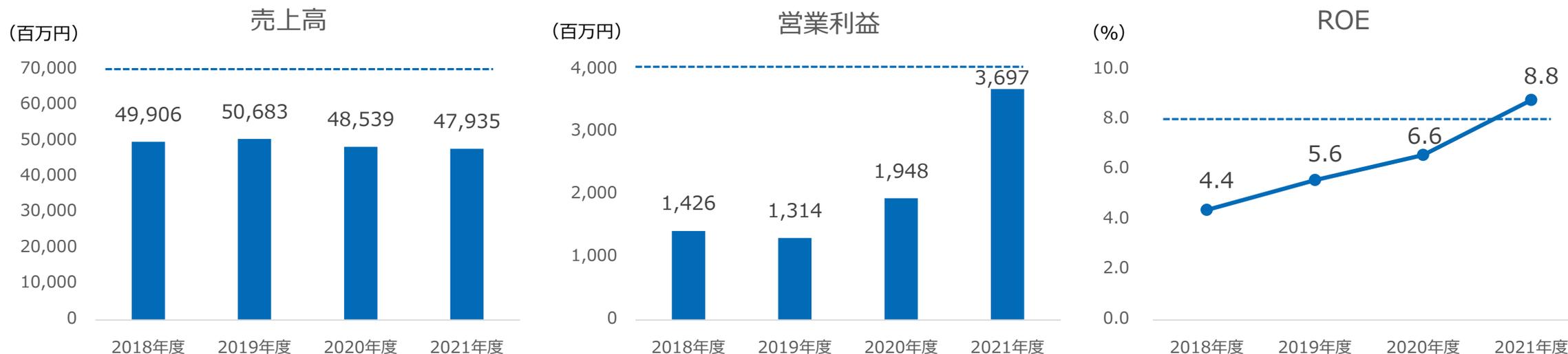


売上高： 当初目標（700億円）は未達、売上成長には至らず

営業利益：当初目標（40億円）は未達も、4年間で大幅改善

ROE： 当初目標（8%）を達成

外的要因も影響しているが、目標数値を数回変更したことについては課題と認識



※2019年2月、数値目標にROE8%を追加

※2020年2月、数値目標を売上高550億円、営業利益30億円に下方修正

※2021年2月、数値目標を売上高510億円、営業利益26億円、ROE7%に下方修正





前中期経営戦略（2018年度～2021年度）の振り返り【定性面】



基本方針

項目	結果
経営と執行の分離	監督機能と業務執行機能とを分離
意思決定の迅速化による機動的な事業遂行	担当領域ごとに責任者となる執行役員を配置。事業成長の追求と成果責任を明確化。
資本効率改善と株主還元の強化	安定的な配当の継続 自己株式消却（100万株） 自己株式取得（約30億円）
株主との価値共有促進	株式報酬制度の導入

重点施策

項目	結果
高収益モデルの確立	<ul style="list-style-type: none"> 国内ITの収益力回復 新型コロナ影響もあり、インド領域の収益力向上は道半ば 2019年秋にM&Aを行ったインドネシア子会社の貢献
投資財務戦略の強化	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ影響もあり、投資財務戦略は保守的対応に留まる
DX対応の強力推進	<ul style="list-style-type: none"> デジタル案件比率アップ（22%→47%） 経営資源をDX対応に集中するためCRO事業を譲渡、選択と集中を図った
新規事業の創出	<ul style="list-style-type: none"> M&Aを含む、新規事業創出が進まなかった

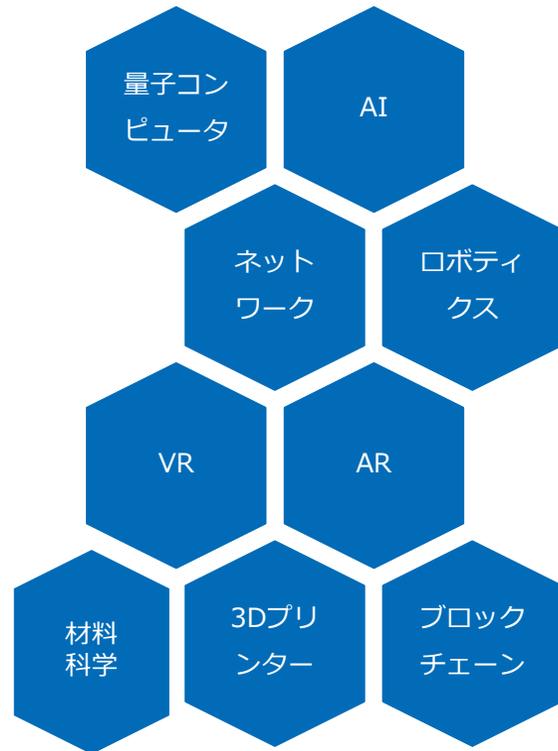
**新型コロナ影響や加速するDX、海外情勢等、当社グループを取り巻く環境の変化が激しい中で
成果と課題が入り混じる結果となった**



私たちの想像する2030年の姿

DXが加速度的に進む2030年

コンバージェンス：
テクノロジー同士の融合



自動運転で場所から自由に

物流の自動化・最適化、ドローン配達



AR・VR授業、バーチャル見学



ロボットがあらゆる面で活躍



無人店舗

スマートファクトリー・無人化



AI、IoT等
テクノロジーの融合・
進化により可能になる



予防医療・遠隔医療

発電・蓄電・送電の最適化



スマート農業

スマートシティ

参考資料：ディアマンディス、コトラー「2030年:すべてが「加速」する世界に備えよ」、2020年



CAC Vision 2030 策定背景

当社グループを取り巻く環境の変化が激しいからこそ、長期的な「ビジョン」を定め共有し、短期的な変動に左右されず持続的な成長を目指す

企業理念 = 私たちの使命と存在意義

**世界をフィールドに
先進のICTをもって新しい価値を創造する**



CAC Vision 2030

10年後の「ありたい姿」「向かうべき方向性」を定め、共有することでグループのベクトルを統一させる。

経営資源の適切な配分を行うことで、持続的な成長を実現させていく。





テクノロジーとアイデアで、 社会にポジティブなインパクトを与え続ける企業グループへ

自らの仕事にプライドと責任を持ち、私たちは挑みます。

前例や先入観に囚われず、最先端の技術と独創的なアイデアを組み合わせ、
社会課題を解決していく。

ポジティブなインパクトを与え続けることで、
きっと社会は豊かになる。

私たちが変えていく、共感者とともに。

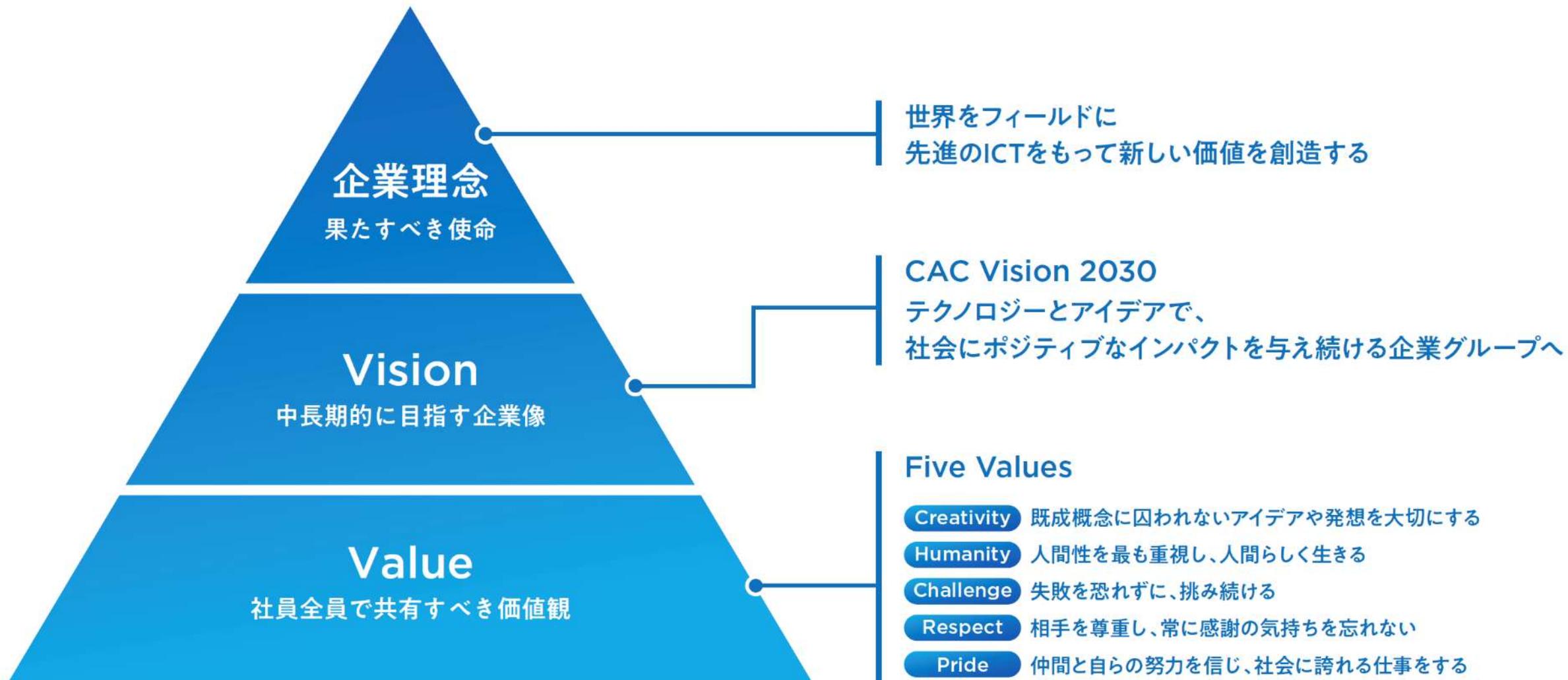
さあ、仕掛けよう。

Let's make an **i**mpact.





CAC Vision 2030 / 企業理念・Vision・Value





「ポジティブなインパクト」とは？

AIやIoT等のデジタル技術・データによる「手段」の提供を通じて
人ならではの多様な想像／創造力を発揮できるようにすること

取組中または検討中の事例

ユニバーサルデザインによる
インクルーシブ社会の実現

- 自動ドア開閉装置とAIジェスチャー認識技術を組み合わせた
手動ドア開閉装置 等

地方創生

- 顔認証、人流検知によるみまもり
- 顔認証決済、地産地消を促す地域ポイントシステム 等

健康への貢献

- 「心sensor for Communication」での健康促進機能 等

労働生産性の向上

- 物流現場でのAI・ARを活用した異常検知、ピッキング・入荷・在庫確認作業
- 建設現場でのAI・ARを活用した資材管理 等



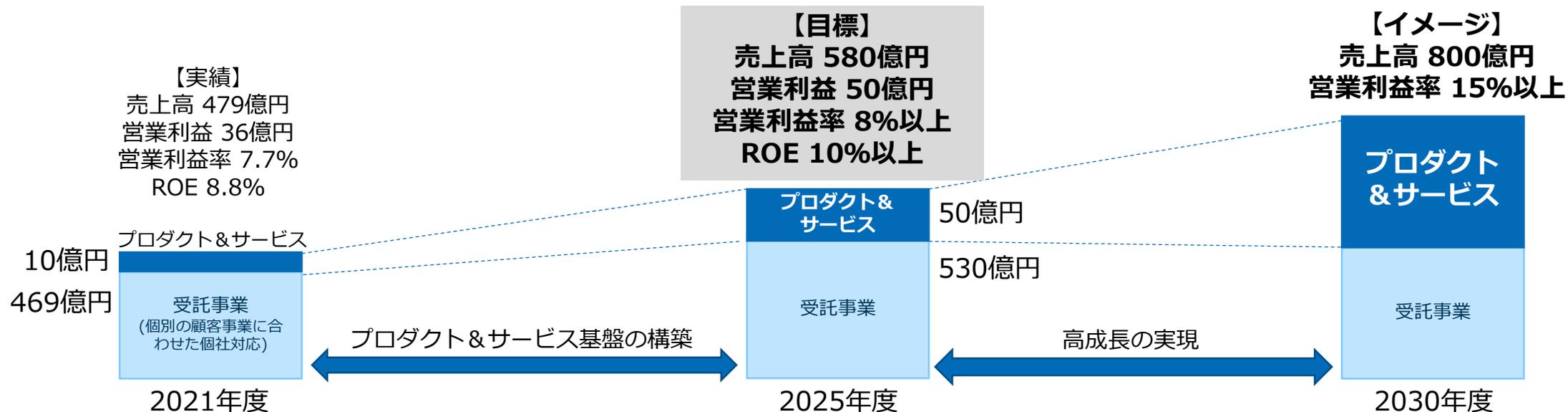


定量イメージ

CAC Vision 2030達成に向けて

高収益・高成長の「デジタルソリューション（※）提供企業」に生まれ変わる

※顧客課題を先導解決するデジタルプロダクトとサービス（コンサル、サポート）のコンビネーション



今次中期経営計画

フェーズ1 (2022~2025)

フェーズ2 (2026~2030)

- ・既存受託事業での安定した収益の獲得
- ・フェーズ2に向け、継続的に新規プロダクト&サービスを生み出す仕組みの構築

- ・フェーズ1の仕込み・グループ挙げての努力が結果に結びつく



CAC Vision 2030における経営の在り方・企業文化・行動特性

経営の在り方

- 経営層がCAC Vision 2030の実現にコミットしている
- CAC Vision 2030達成に必要な経営能力を持った人材を定義し、それに基づいて育成・獲得している
- サステナビリティ経営に取り組んでいる
 - 人材の多様性に対する取り組みの継続
 - 当社グループの最重要資源である人材への積極的な投資
- 事業成長への投資を進め、その結果をステークホルダーへバランスよく還元するとともに、事業へ再投資する

企業文化・ 従業員に求める 行動特性

- 起業家精神、自ら考え自ら生み出す
- 仕事の成果を自身の成長につなげると同時に、顧客と当社グループ双方の成長につなげる
- 自身の仕事に誇りをもって顧客を先導する



The image features a white background with decorative blue circuit-like patterns in the corners. These patterns consist of interconnected lines and dots, resembling a network or data flow, set against a dark blue background. The patterns are located in the top-left and bottom-right corners, framing the central text.

2022年度～2025年度 中期経営計画



中期経営計画骨子（フェーズ1：2022年度～2025年度）

既存受託事業における安定した収益の獲得及び
フェーズ2に向け継続的に新規プロダクト&サービスを生み出す仕組みの構築期間

成長戦略

【プロダクト&サービス】

- ・新規事業を継続的に立ち上げる仕組み・ビジネス基盤の構築
- ・“Human Centered Technology”コンセプトによる『共創』
- ・事業投資、人材投資の推進 約150億円

【既存受託事業】

- ・内部資源の拡充を図りながら成長を遂げる

高収益化戦略

- ・不採算事業の整理
 - ・経営効率化
- 約10億円の改善

コーポレート

- ・グループガバナンス体制や運用方法の見直し
- ・組織風土改革



テクノロジーとアイデアで、
社会にポジティブなインパクトを
与え続ける企業グループへ



DX時代のための、CACのソリューションコンセプト

これまでにない新しい価値提供

AIやIoTの活用により実現する、人を察するシステムによるReactive(受動的)な価値を提供します。



先進的な要素技術を幅広く提供

感情認識、脈波推定、顔認識、姿勢・動作推定、物体検知、外観検査、時系列データ解析等の各種AI、およびブロックチェーンなど。



DXの発展に向けた支援

ビジネスモデルの変革や競争力向上へ、先端技術をいかに活用するかを支援します。



AIで人を幸せにし、健康的な環境づくりを支援

AIを活用して、人が健やかに生きることができる、健康的な生活環境および仕事環境の構築を支援します。



DX促進による働き方改革の実現

IoT、5G、AIなどを人を活かす形で業務に導入することで働き方改革や業務効率の向上を推進します。



価値創造に向けた人が活躍できる環境

価値創造に向け、人が活躍できる環境へ。人にしかできない業務に人が注力できる環境を整え、人の創造性を高めます。



製造



物流



医療・介護



金融



様々なパートナー
との共創



中計期間中の事業体制

セグメント	対象領域	内容
国内IT	既存領域	既存事業である受託事業中心。
	新規事業領域 (主にプロダクト&サービス)	CACグループにおける新規事業創出を担う。 CACに設置した専門部署を中心に事業の立ち上げを推進。 グループ内に不足する機能・要素技術については、M&Aやアライアンス等による投資を行う。 ※海外案件については、海外ITで計上
海外IT	アメリカ	日系企業の現地拠点サポートのほか、グローバル案件におけるアライアンスパートナー（海外ITベンダー等）との共同サポート提供。
	ヨーロッパ	
	中国	受託事業（主に日本のオフショア）が中心であるも、日系・非日系を問わず現地企業案件の受注拡大を図る。
	インド	インドを中心とした現地案件中心。 構造改革に継続的に取り組むことで、収益力向上を目指す。
	インドネシア	インドネシア及びオーストラリアにおける受託事業を中心としつつ、CACグループ内におけるアジャイル開発をリードする役割を担う。





さあ、仕掛けよう。

Let's make an **i**mpact.



6

参考データ

業種別 受注高

業種別 売上高

セグメント別業種別 受注高

セグメント別業種別 売上高



業種別受注高（CRO除く）

単位：百万円

	2020年度		2021年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	12,781	30.9%	13,561	30.5%	+780	+6.1%
製薬	5,555	13.4%	7,469	16.8%	+1,913	+34.5%
製造	6,782	16.4%	6,939	15.7%	+156	+2.3%
情報・通信	5,302	12.8%	7,716	17.3%	+2,413	+45.5%
サービス業など	10,980	26.5%	8,795	19.8%	▲2,185	▲ 19.9%
合 計	41,402	100.0%	44,481	100.0%	+3,079	+7.4%

※CROセグメントを構成するCACクロアの株式譲渡に伴い、CROの受注高を除外して算出しています。





業種別売上高（CRO除く）

単位：百万円

	2020年度		2021年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	13,086	31.4%	13,403	31.1%	+316	+2.4%
製薬	5,116	12.3%	7,271	16.9%	+2,154	+42.1%
製造	7,113	17.1%	7,063	16.4%	▲49	▲ 0.7%
情報・通信	5,400	12.8%	6,537	15.2%	+1,136	+21.0%
サービス業など	11,001	26.4%	8,818	20.5%	▲2,182	▲ 19.8%
合 計	41,718	100.0%	43,094	100.0%	+1,375	+3.3%

※CROセグメントを構成するCACクロアの株式譲渡に伴い、CROの売上高は除外して算出しています。





セグメント別業種別受注高（CRO除く）

単位：百万円

	2020年度		2021年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	32,090	77.5%	34,538	77.6%	+2,448	+7.6%
金融	9,939	24.0%	10,796	24.3%	+856	+8.6%
製薬	5,231	12.6%	7,103	16.0%	+1,871	+35.8%
製造	5,388	12.1%	5,789	13.0%	+400	+7.4%
情報・通信	2,739	6.6%	3,579	8.0%	+839	+30.6%
サービス業など	8,790	21.2%	7,269	16.3%	▲1,520	▲17.3%
海外IT	9,312	22.5%	9,943	22.4%	+630	+6.8%
金融	2,841	6.9%	2,765	6.2%	▲76	▲2.7%
製薬	324	0.7%	366	0.8%	+42	+13.0%
製造	1,393	3.4%	1,149	2.6%	▲244	▲17.5%
情報・通信	2,562	6.2%	4,136	9.3%	+1,574	+61.4%
サービス業など	2,189	5.3%	1,525	3.4%	▲664	▲30.3%
合計	41,402	100.0%	44,481	100.0%	+3,079	+7.4%

※ CROセグメントを構成するCACクロアの株式譲渡に伴い、CROの受注高は除外して算出しています。





セグメント別業種別売上高（CRO除く）

単位：百万円

	2020年度		2021年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	31,852	76.4%	33,586	77.9%	+1,733	+5.4%
金融	10,106	24.2%	10,681	24.8%	+574	+5.7%
製薬	4,778	11.5%	6,930	16.1%	+2,152	+45.0%
製造	5,531	13.3%	5,769	13.4%	+238	+4.3%
情報・通信	2,934	7.0%	3,200	7.4%	+265	+9.1%
サービス業など	8,502	20.4%	7,004	16.3%	▲1,497	▲17.6%
海外IT	9,865	23.6%	9,507	22.1%	▲358	▲3.6%
金融	2,980	7.1%	2,721	6.3%	▲258	▲8.7%
製薬	338	0.8%	341	0.8%	+2	+0.8%
製造	1,581	3.8%	1,294	3.0%	▲287	▲18.2%
情報・通信	2,466	5.9%	3,336	7.7%	+870	+35.3%
サービス業など	2,499	6.0%	1,814	4.2%	▲685	▲27.4%
合計	41,718	100.0%	43,094	100.0%	+1,375	+3.3%

※ CROセグメントを構成するCACクロアの株式譲渡に伴い、CROの売上高は除外して算出しています。



The image features a white background with decorative blue circuit-like patterns in the top-left and bottom-right corners. These patterns consist of interconnected lines and dots, resembling a network or data flow. The text is centered in the middle of the page.

2021年度下期 主要ニュース



2021年度下期主要ニュース(1/3)

2021/7/20	<p>アークシステム、Zabbix監視設定代行・支援サービス開始</p> <p>アークシステムは、Zabbix Japan LLCが提供するオープンソースの監視ソフトウェア「Zabbix」について、監視設定追加作業を代行・支援するサービスを開始。本サービスは、Zabbixを利用中の担当者が監視設定を追加するための調査や設定の負荷を下げ、最低限の労力・コストでZabbixによる監視の拡張が可能となる。</p>
2021/7/27	<p>CACと雲仙市がデジタル化推進および観光振興に向けた協定を締結 ～地域活性化起業人制度によるIT人材派遣とワーケーション・地域創生での連携～</p> <p>CACは長崎県雲仙市との間で同市のデジタル化推進および観光振興に向けた協定を2021年7月5日付で締結。雲仙市の市民サービス向上を目的としたデジタル化推進のため、「地域活性化起業人制度」を活用してCAC社員（IT人材）を雲仙市に派遣するもので、締結期間は令和3年7月5日～令和4年3月31日。CACが派遣した社員は、デジタル技術の活用による観光や一次産業などのさらなる発展、また雲仙市役所のデジタル化による業務の効率化と高度化推進などに取り組む。</p>
2021/8/24	<p>CAC Holdings、新市場区分における「プライム市場」選択</p> <p>2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領し、「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認。この通知を受け、取締役会において「プライム市場」選択を決議。</p>
2021/8/30	<p>CAC、長崎第二センター（仮称）開設に伴う立地協定を締結</p> <p>CACは「長崎第二センター（仮称）」の立地協定を長崎県および長崎市と締結。NBCビルに入居し、2021年11月に開設予定（開設済）。</p>





2021年度下期主要ニュース(2/3)

2021/9/2	<p>CAC、準天頂衛星システムみちびきの高精度位置情報とブロックチェーン技術を利用した配達員保険システムの実証実験に着手 ～ 「2021年度 みちびきを利用した実証事業公募」に採択 ～</p> <p>内閣府と準天頂衛星システムサービス株式会社が主催する「2021年度 みちびきを利用した実証事業公募」に、CACのブロックチェーン技術を活用した配達員保険システムの提案が採択され、実証実験に着手。本提案はフードデリバリーサービスの配達員の運転情報と保険料を連動させる保険システム。採択を受けてCACでは、みちびきデータ収集のアプリ、およびブロックチェーンを用いた保険システムについて本年9月に要件定義と開発をスタートさせ、2022年3月まで実証実験を行いフードデリバリーサービス会社や損害保険会社とも連携しビジネス化推進していく予定。</p>
2021/10/5	<p>CACグループ、「ボッチャ用具寄贈プロジェクト」を実施</p> <p>2016年より一般社団法人日本ボッチャ協会のゴールドパートナーとして、障害者スポーツ「ボッチャ」の普及・支援に取り組んでおり、更なるボッチャの普及を目的として、2017年から開始した「ボッチャ用具寄贈プロジェクト」を今年も実施。</p>
2021/10/13	<p>CAC、自動封函時の異常を検知するAIアプリケーションを三井物産グローバルロジスティクス向けに開発・納入～ 不適切な状態の箱の発送防止と再封函時の作業負荷軽減を実現 ～</p> <p>CACは、商品発送用の箱に自動封函機で封をする際の異常を検知するAIモデルとアプリケーションを三井物産グローバルロジスティクス株式会社向けに開発・納入し、同社横浜本牧倉庫において実運用。同社とCACは、2020年3月から4カ月にわたり、高速で動く発送箱をカメラ画像でとらえ、状態の適切/不適切の判定を行うAIモデルの開発と精度検証をPoCプロジェクトで実施。CACは、画像データ収集、自社ツールによるアノテーション（教師データの作成）、AIモデル開発に必要なバックボーンの設定、パラメータのチューニング等を実施しながら、独自のAIモデル開発を行った。</p>
2021/11/1	<p>ファイザー株式会社の「実消化クラウドサービス」導入事例をCACが公開</p> <p>CACは、製薬企業向けの「実消化クラウドサービス」をファイザー株式会社に導入、その事例を公開した。CACの実消化クラウドサービスは短期間で構築が可能であり、かつ高い処理性能と拡張性を持った持続性のあるサービスとなっており、様々な製薬会社で活用できる。</p>





2021年度下期主要ニュース(3/3)

2021/11/25	<p>CAC、製薬業向けにCSV対応のクラウド環境構築・運用サービスを開始 ～ 製薬業界の規制に対応したクラウド活用をトータルに支援 ～</p> <p>CACは、製薬業向けCSV（コンピュータ化システムバリデーション）対応クラウド環境構築・運用サービスの提供を開始。本サービスは、オンプレミス環境にある業務システムとデータのクラウド環境への移行、さらに移行後のシステム運用までを、医薬品の研究・開発・製造等で使用されるコンピュータ化システムの意図どおりの動作を保証する活動であるCSVに準拠した品質で提供する。</p>
2021/11/29	<p>CAC、AIが人間の「合図」を読み取るシステムを日建設計総合研究所と共同開発し、ドアの開閉に適用～ 12/6～8開催のスマートビルディングEXPOにコンセプトモデルを出展 ～</p> <p>CACは、株式会社日建設計総合研究所と共同で人間の合図や動作をAIが感知して機器や装置をコントロールするジェスチャーコントロールエンジン「UT-AIZ（ユーティーアイズ）」を開発。このシステムを手動ドアに搭載し、ジェスチャー認識と顔認証で扉を開閉する「アシスト・スイング UT-AIZ」のコンセプトモデルを「スマートビルディングEXPO」（2021年12月6日～8日）に出展した。</p>
2021/11/30	<p>CAC、リクルートスタッフィングと開発した笑顔トレーニングのスマホアプリを提供開始 ～ 好きな時間・場所で笑顔のトレーニングが可能に ～</p> <p>CACは、株式会社リクルートスタッフィングと共同で開発した感情認識AIを活用した表情トレーニングアプリ「心sensor for Training」のスマートフォン版（以下心sensor for Recruit Staffing）を開発・提供した。リクルートスタッフィングでは、派遣スタッフが場所や時間にとらわれずに笑顔トレーニングができるよう、アプリをスマートフォン用にカスタマイズすることとし、CACが開発を受託。完成したスマホアプリ「心sensor for Recruit Staffing」を2021年10月から派遣スタッフ向けに提供開始した。</p>
2021/12/3	<p>CACグループ、6年連続「東京都スポーツ推進企業」に認定 障害者スポーツ「ボッチャ」の普及・支援活動を評価</p> <p>CAC Holdingsは、東京都オリンピック・パラリンピック準備局が実施している「東京都スポーツ推進企業認定制度」において、「令和3年度東京都スポーツ推進企業」の認定を受けた。社員のスポーツ活動を促進する取り組みや、スポーツ分野における支援を実施している企業等を認定する当制度は2015年から開始され、今年度は333社が認定された。CACグループは、2016年より取り組んでいる障害者スポーツ「ボッチャ」の普及・支援の活動が評価され、6年連続で認定された。</p>

お問合せ先

経営企画部 コーポレート・コミュニケーショングループ

TEL : 03-6667-8010 E-mail : prir@cac.co.jp

<https://www.cac-holdings.com/>